

令和元年度 地域包括支援センター事業運営評価シート

資料5-3

(センターの名称: 海岸地区地域包括支援センター あい)

国評価 (3/31時点)		市評価 (3/31時点)	
○	×	○	×
49個	6個	10個	0個

地域包括 支援センター 自己評価	今年度は四季サロン(年2回19名参加)、家族介護教室(年1回8名参加)の他、初の試みとしてあいフェス(オレンジカフェ3名・四季サロン16名・認知症サポーター養成講座6名・エンディングノート13名・家族介護教室9名)を開催し包括あいを更に地域住民の方に知って頂く機会となった。引き続き行ったちがさき体操・湘南くち体操開催時は(研修期間中であった現包括つむぎ)と協働しコグニサイズも取り入れ住民の健康維持・介護予防に取り組んだ(年間延べ163名)。まちどから協議会へ毎月参加し、防災訓練、地区社協のお祭りにも参加し、ネットワークを構築した。困難ケースに関して、認知症初期集中チーム員会議に積極的に参加し、民生委員や市、医療機関等と連携し問題解決を図った。また地域医療研修会で「地域、病院、行政の役割を考える」をテーマに講演会で発表した。担当圏域のケアマネジメント支援として介護支援専門員のニーズに基づき、民生委員との交流、意見交換の場を設けた。4～9月までの6カ月間、中海岸地域の引継ぎ・包括の一連業務、三職種の役割など現包括つむぎに研修を行った。研修期間終了後も引き続き連携を図っている。
------------------------	---



基幹型包括 ヒアリングの ポイント及び 結果	<p>【ヒアリング実施日】令和2年6月22日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づき、着実に事業を実施し、全体として目標を達成できていた。 ・センターの通常業務に加え、令和元年10月に新たに開設したセンターへの引き継ぎや支援を適切に実施していたき、円滑に開所することができた。 ・センターに隣接していた、ボランティアセンター等と連携協力し、四季サロン、あいフェス等の独自事業にも積極的に取り組んで、これまでセンターを知らなかった方への周知の機会となるなど、成果を上げている。 ・国評価の地域ケア会議については、ネットワークづくりや地域の課題をテーマに開催し、個別事例の検討は実施しなかったため、×となった項目があった。個別事例については事例検討会など、別な手法を用いて実施しているため、対象者への支援は適切にできている。 ・研修会で事例発表を行ったり、認知症のチーム員会議に事例を提出するなど、事業間連携にも積極的に取り組んでいた。
---------------------------------	--



推進委員会に、地域包括支援センターの自己評価及び基幹型包括によるヒアリングの結果について、報告し、意見徴収を行う。



茅ヶ崎市 総合評価	
--------------	--

* 市としての総合評価は、推進委員会の意見等を踏まえ、決定する。